

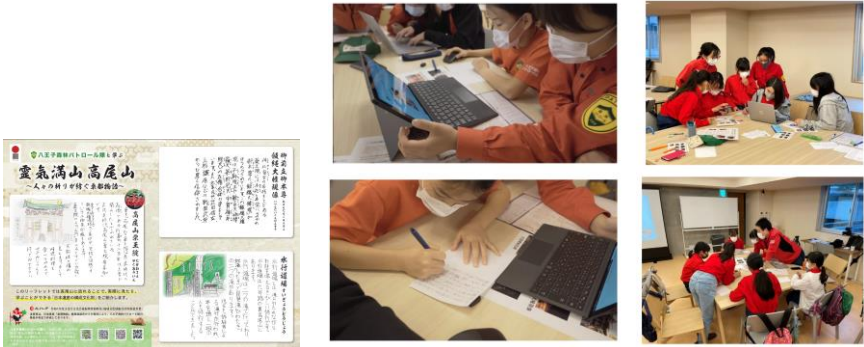
令和3年度 日本遺産「桑都物語」推進協議会事業実績

◇地域文化財総合活用推進事業【文化芸術振興費補助金(国庫補助事業 補助率 100%)】

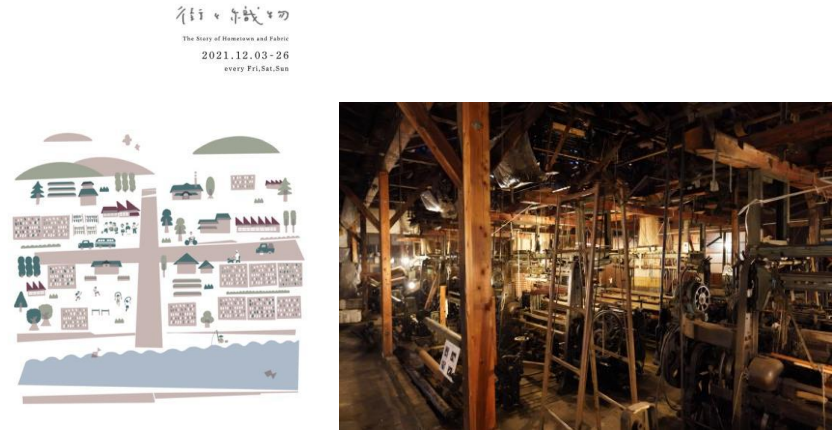
1 人材育成事業(決算額 1,166,920 円)

事業名	内容
日本遺産ガイド養成講座	本市既存のガイドボランティア(高尾山・八王子城跡・滝山城跡・郷土資料館)を対象に、日本遺産ガイドを養成する取組を開始した。 全3回のプログラムを企画したが、コロナ禍の状況下で実施は1回のみ。近隣の日本遺産認定地域のガイドやまち歩きの専門家の講義を受けた。 ＜令和4年度 継続＞
「日本遺産 PR 部」人材育成	令和2年度に開始した歴史文化の魅力を継続的に発信する人材を育成し、PR集団を形成する取組を継続。定例活動の他、日本遺産サミットや八王子いちよう祭りでの実地研修や織物工場見学等を通じて人材を育成した。 ＜令和4年度 普及啓発事業＞



森林パトロール隊人材育成	令和2年度に開始した日本遺産認定ストーリーや高尾山の文化的価値を広く発信できるようになるための人材育成の取組を継続。令和2年度に参加した5名の小学生が先頭に立ち、隊員 50 余名がグループワークを通じて日本遺産認定ストーリーや高尾山にある構成文化財について知識を深めた。 ＜令和4年度 成果発表予定＞	
--------------	--	---

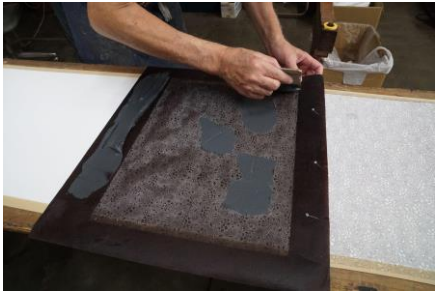
2 普及啓発事業(決算額 6,169,625 円)

事業名	内容	内容
「桑都」の魅力普及啓発イベント	八王子の繊維産業と暮らしの一部を切り取り、市内外の人にその空間を体験してもらうイベントを企画運営した。また、八王子の「街と織物」に関わる人へのインタビューを記録し、コンテンツ化して普及啓発を図った。 市内外から 250 名以上の方が参加。アンケートやインターネットを通じて多くの反響を得た。関わる人の輪が広がり、今後の様々な展開につながる企画となった。	

桑都・八王子の花街の魅力向上イベント	桑都の文化を語る上で重要な要素となる八王子の花街の魅力を向上させるため、構成文化財「八王子芸妓」の活動展示「桑都花街物語」を通じて日本遺産や桑都の歴史文化の魅力について普及啓発を図った。 計10回・各回 20～70 名の参加 まちなか休憩所 八王子宿 わくわくフェア・いちよう祭り <令和4年度 継続>	
日本遺産 ウォーキングイベント	日本遺産にゆかりのある桑都・八王子の古道を古街道研究家の宮田太郎氏のガイドにより巡り、歴史文化の魅力を探索するイベントを開催した。令和2年度に引き続き人気の企画となり、“With コロナ”期の定番イベントとして確立できつつある。 10月23日 京王八王子～京王片倉(26名) 11月27日 北野・由木エリア(21名) 12月11日 由木・堀之内エリア(23名) <令和4年度 継続>	

いちよう祭りにおける日本遺産の普及啓発	いちよう祭りの来場者に対して、日本遺産作品展「桑都・八王子展」やポスター掲示、関連商品の販売等のプロモーション活動を通じた普及啓発を図った。 そのほか、日本遺産認定記念通行手形の発行や構成文化財を巡るモバイルスタンプラリー等により、多くの方に日本遺産に関する認知度を高めてもらうことができた。 期間:10月9日～11月30日 場所:陵南いちよう会館 (期間中来場者:2,867名)	 
----------------------------	---	---

3 調査研究事業(決算額 3,246,760 円)

事業名	内容
桑都のものづくり調査研究	「桑都・八王子」の歴史に根差した、八王子の“ものづくり”や地域間連携の、歴史や現状について深掘りし、認定ストーリーの魅力を磨き上げるための調査研究を行った。 また、調査研究の成果について、次世代を担う学生の目線で整理する試みを実践することができた。  

「桑都の音」調査研究

八王子在住で市内にスタジオを構え、世界で活動しているミュージシャン永井朋生氏により、体験・体感につながる「音」について、認定ストーリーや構成文化財に関連させて調査研究を行い、資料化を進めた。

計 20 件、100 テイク以上の録音を行い、資料化した。また、八王子の素材や、自然の中から生まれる音についても調査研究を重ね、「桑都・八王子の音」として還元する可能性を模索。情報コンテンツ作成事業で制作した動画のBGMにも、資料化した音源を活用することができた。

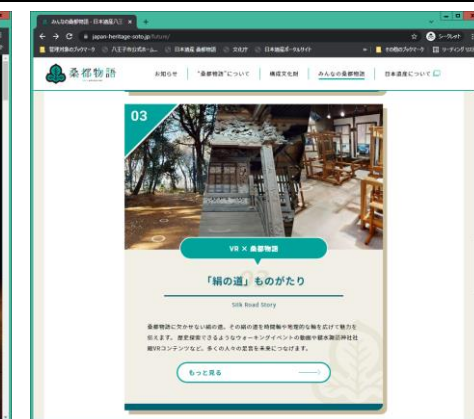
<令和4年度 作品化予定>



◇観光拠点整備事業【文化資源活用事業費補助金(国庫補助事業 補助率 65%)】

1 情報コンテンツ作成事業(決算額 20,987,318 円)

事業名	内容
日本遺産構成文化財 看板製作・設置	認定ストーリーや構成文化財の紹介、構成文化財への誘導を目的とした、二次元コードにより多言語音声ガイドアプリと連携した案内看板等を、12 か所に 14 基設置した。 【設置場所】 高尾山内(7か所7基) 見番(3か所5基) 京王八王子駅前 ＜令和4年度 継続＞
Web サイト構築 Web コンテンツ制作	認定ストーリーや構成文化財の魅力を発信するための Web サイトを構築した。また、様々な取組の成果を魅力発信に活用するために Web コンテンツ化を進めた。 コンテンツを充実させて、日本遺産の認知度向上や日本遺産関連施設への来場者増加につなげていく。



イベント出展ブース用ディスプレイ製作 リーフレット・ポスター等制作	出展ブース用のディスプレイやプロモーション資材等を一貫して質の高いデザインにより制作した。 日本遺産認定以降、同一のデザインチームと協働し、プロモーション資材等のデザインを進めている。今後も取組を継続し、日本遺産の認知度向上や日本遺産関連施設への来訪者増加につなげていく。 ＜令和4年度 継続＞	 
--	---	---

2 活用整備事業(決算額 3,511,310 円)

事業名	内容	
日本遺産体験スペース 「多摩織工芸館」整備	八王子繊維貿易館に、日本遺産認定ストーリーや構成文化財を体感し、また、多摩織等を体験してもらえるスペースを整備した。 日本遺産の魅力を発信する新たな拠点として、また、本市ゆかりのアーティストや若者などの参画につなげていく活動拠点として活用していく。 ＜令和4年度 供用開始＞	

はちはくにおける日本遺産展示環境の整備	東京都立大学との協働により、「はちはく」に導入済みの可搬型投影模型システムの機能を充実させるとともに、投影コンテンツやシステム活用方法の検討を進めた。 既存システムの活用を幅を広げ、学生や市民が当該展示をより活用できる環境を整えることができた。 「はちはく」への来訪者増加や、学生の活動拠点としての活用等につなげていく。 <令和4年度コンテンツ充実予定>	
----------------------------	---	---

◇その他(マンパワー事業等)

事業名	内容
公式 SNS による情報発信	協議会公式 SNS を開設し、旬な情報を発信している。 <令和4年度 継続>   